

第2回江別市学校給食用食器検討委員会 資料

1. 札幌市が使用している箸について

現在、札幌市ではポリブチレンテレフタレート（強化PBT）製箸を使用している。

箸の材質	長さ		メーカー名	単価 (税別)	数量	総額 (税別)	購入 時期
	小学校	中学校					
ポリブチレンテレフタ レート(強化 PBT)	小学校	195ミ	三信化工(株)	79	3,500	276,500	H29.02
	中学校	210ミ		74	2,500	185,000	

<購入の経緯>

従前の箸は竹製（中国製）で、導入時期は昭和53年、それ以前は箸を使用していない。
現在のPBT箸は、平成27年2月末を納期として、小中を含め240,000膳を調達したものの。

<検討の経緯>

竹箸は、天然素材のため湾曲や黒ずみ等の問題があった。

平成24年度から、ビリアン（鉄木）の試行を行ったが、臭いやささくれの問題があった。

以上から、樹脂箸のサンプルを調達し、札幌市教育委員会保健給食課や、調理員の代表者の会議、栄養士の代表者の会議等で検討、約30校での試行検証を経て、現在のPBT箸が適当との結論に至った。

* ビリアンについて

<http://www.nisshoku4184.com/goods/kyushoku/index.html>

マレーシア国ボルネオ島産で素材の特徴として、熱湯と時間の経過で酸化が進み茶褐色から黒壇色になりビリアン材の本当の価値が出ます。アクの強さが熱湯に強く(180℃)そり、曲がりも極めて少ないです。